

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	松くい虫防除対策事業				
担当課係名	農山村活性	課	林務	係	作成者 千葉 光
総合計画での位置づけ	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画のページ 66
	基本計画	森林の整備と林業の振興			
	主要施策	林業生産活動の活性化			
予算費目	一般	会計	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度		新規/継続の区分		継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等	マツ林健全化整備事業実施要領				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助				

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市所有の松林
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	松くい虫による被害を防止するため
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	専用の薬剤を対象木に樹幹注入して感染を予防する。また、保護対象森林で松枯れが発生した場合は被害拡大防止のため伐倒〜くん蒸処理を行う。

## 【事務事業の推移】

	項 目		単位	23年度実績		
	効果	活動指標	薬剤樹幹注入	目標	本	1,287
実績				本	1,431	
達成度				%	111.2%	
成果指標		松くい虫感染	目標	件	0	
			実績	件	0	
			達成度	%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)		4,311	4,116		
	人 件 費 (B)		—	4,240		
	職 員 数		—	0.50		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	8,356		
	財源内訳	国庫支出金			2,058	
		県支出金		3,232	1,029	
		地方債			0	
		その他			0	
		一般財源		1,079	5,269	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,839		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	281		

【事務事業の今までの成果】

作業は市内業者に委託して安全に施行している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国及び県から補助を受け、松くい虫の被害がある又は被害が懸念される自治体が同様の事業を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	健全な松林の維持、景観保護に対する期待

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	樹幹注入の薬剤は4年間で効果がなくなるので、現状のまま継続する必要がある。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	景観保護の維持や森林資源を失わないためにも、防除対策は必要な事業であると考えます。また一度被害にあうと完全な駆除が難しい点からも、継続して実施する必要があると考えます。

